



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年8月6日

上場会社名 兼房株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 5984 URL <http://www.kanefusa.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 渡邊 将人

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 (氏名) 鈴木 仁

TEL 0587-95-2821

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	3,750	0.9	230	△8.4	123	△40.0	111	△14.2
24年3月期第1四半期	3,718	9.2	251	144.9	205	—	130	—

(注) 包括利益 25年3月期第1四半期 427百万円 (64.8%) 24年3月期第1四半期 259百万円 (827.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	8.06	—
24年3月期第1四半期	9.39	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期第1四半期	21,608	17,869	82.7	1,285.51
24年3月期	21,640	17,545	81.1	1,262.21

(参考) 自己資本 25年3月期第1四半期 17,869百万円 24年3月期 17,545百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	7.50	—	7.50	15.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	7.50	—	14.50	22.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	8,160	9.0	750	46.4	750	110.1	480	177.1	34.53
通期	16,560	11.8	1,670	83.7	1,680	65.7	1,030	110.0	74.10

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
(注) 詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注)「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料P.3「サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期1Q	14,310,000 株	24年3月期	14,310,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期1Q	409,366 株	24年3月期	409,231 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期1Q	13,900,725 株	24年3月期1Q	13,900,769 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
4. 補足情報	10
(1) 販売の状況(製品別売上高、国内・海外別売上高)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済は、欧州の財政・金融問題やその影響を受けた中国等新興諸国の経済成長の鈍化、加えて中東情勢悪化に伴う原油価格の上昇など、先行きの不透明感は増幅しております。一方、わが国経済は、東日本大震災の復興需要により、景気の一部に緩やかな回復の兆しが見られたものの、長期化するデフレや円高により、依然予断を許さない状況が続いております。

当社製品と関連の深い国内住宅関連産業では、新設住宅着工戸数は被災住宅の再建などを背景に持ち直しの動きが見られ、また、自動車関連産業では、東日本大震災及びタイ大洪水からの復旧や新エコカー減税等による自動車販売の好調もあり、堅調に推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは、海外生産の増強、グローバル市場での販売拡大、国内住宅関連市場の占有率拡大や非住宅関連市場の開拓などを目指し、戦略的な製品開発、生産、営業活動を展開いたしました。国内における売上は、住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに堅調に推移いたしました。一方、海外での売上は、アジア市場を中心に合板用刃物などが増加したものの、金属切断用丸鋸が低調に推移し、また、欧州市場では木工用丸鋸などが低調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は37億5千万円（前年同期比0.9%増）となりました。

利益面につきましては、営業利益は2億3千万円（前年同期比8.4%減）となりました。また、急激な円高の影響を受け為替差損を1億1千3百万円計上したことなどにより、経常利益は1億2千3百万円（前年同期比40.0%減）、四半期純利益は1億1千1百万円（前年同期比14.2%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 日本

国内では住宅関連刃物、非住宅関連刃物ともに増加したものの、海外では金属切断用丸鋸などが減少したことなどにより、売上高は32億8千3百万円（前年同期比3.9%減）となり、営業利益は1億4千2百万円（前年同期比33.3%減）となりました。

② インドネシア

合板用刃物などが増加し、売上高は3億9千2百万円（前年同期比22.7%増）となりました。利益面ではストライキ終結に伴う工場稼働率の回復などにより、営業利益は1千1百万円（前年同期は4千万円の営業損失）となりました。

③ 米国

金属切断用丸鋸などが増加したものの、ダイヤ製品などが減少し、売上高は1億8千3百万円（前年同期比7.0%減）となりました。利益面では経費削減などにより営業利益は3千万円（前年同期比52.1%増）となりました。

④ 欧州

金属切断用丸鋸などが増加したものの、木工用丸鋸などが減少し、売上高は3億3千5百万円（前年同期比8.4%減）、営業利益は4千万円（前年同期比4.0%減）となりました。

⑤ 中国

製紙用刃物や木工用丸鋸などが増加し、売上高は3億4千1百万円（前年同期比10.3%増）となりました。利益面では生産設備増強により売上原価が増加し、営業損失9百万円（前年同期は1千9百万円の営業利益）となりました。

なお、セグメント別の売上高は、セグメント間の内部売上高を含めて記載しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末（以下「前期末」という。）に比べて3千2百万円減少して216億8百万円となりました。流動資産は現金及び預金が減少したことなどにより、前期末比1億8千4百万円減少の119億8千万円となりました。固定資産は投資その他の資産が8千8百万円減少したものの、有形固定資産が2億3千7百万円増加したことなどにより、前期末に比べて1億5千2百万円増加の96億2千7百万円となりました。

負債は、賞与引当金、支払手形及び買掛金の減少などにより、前期末比3億5千5百万円減少して37億3千8百万円となりました。

純資産は、利益剰余金が前期末比7百万円増加し、その他の包括利益累計額が前期末比3億1千5百万円増加したことにより、前期末比3億2千3百万円増加して178億6千9百万円となりました。また、自己資本比率は前期末の81.1%から82.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の経済見通しにつきましては、震災後の復興需要の動向、電力不足の問題、円高傾向の長期化、欧米景気動向など不確定な要因が増しつつあり、先行き不透明な状況が続くものと思われま

す。このような状況の中で、当第1四半期の業績は円高による為替の影響があったものの予想の範囲内で推移し、第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、当初の予想(平成24年5月7日発表)の変更はありません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、実際の業績等は様々な要因により予想値と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、当第1四半期連結累計期間の減価償却費は1,559千円減少し、売上総利益は917千円増加、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ962千円増加しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,828,698	3,239,486
受取手形及び売掛金	4,126,453	4,148,034
商品及び製品	1,332,194	1,482,355
仕掛品	818,292	816,026
原材料及び貯蔵品	1,518,709	1,580,061
その他	562,581	748,386
貸倒引当金	△21,642	△33,500
流動資産合計	12,165,285	11,980,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,668,067	2,655,834
機械装置及び運搬具(純額)	3,164,956	3,391,605
その他(純額)	2,436,567	2,459,644
有形固定資産合計	8,269,590	8,507,084
無形固定資産	139,105	142,569
投資その他の資産	1,066,398	977,592
固定資産合計	9,475,094	9,627,245
資産合計	21,640,380	21,608,096

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,838,097	1,676,223
未払法人税等	83,588	23,883
賞与引当金	336,086	101,788
その他	1,120,415	1,264,903
流動負債合計	3,378,187	3,066,799
固定負債		
退職給付引当金	483,590	466,485
その他	232,867	205,465
固定負債合計	716,457	671,950
負債合計	4,094,645	3,738,750
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,142,500	2,142,500
資本剰余金	2,167,890	2,167,890
利益剰余金	13,871,930	13,879,648
自己株式	△208,420	△208,490
株主資本合計	17,973,900	17,981,547
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	195,931	133,145
為替換算調整勘定	△624,096	△245,346
その他の包括利益累計額合計	△428,164	△112,201
純資産合計	17,545,735	17,869,346
負債純資産合計	21,640,380	21,608,096

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
売上高	3,718,742	3,750,985
売上原価	2,453,152	2,484,704
売上総利益	1,265,589	1,266,280
販売費及び一般管理費	1,013,855	1,035,649
営業利益	251,733	230,630
営業外収益		
受取利息	877	945
受取配当金	5,770	5,943
デリバティブ評価益	1,123	3,048
その他	6,090	4,526
営業外収益合計	13,861	14,464
営業外費用		
売上割引	8,717	8,201
為替差損	50,884	113,306
その他	56	59
営業外費用合計	59,657	121,567
経常利益	205,937	123,528
特別利益		
固定資産売却益	—	88
会員権売却益	176	—
特別利益合計	176	88
特別損失		
固定資産除却損	1,699	1,788
特別損失合計	1,699	1,788
税金等調整前四半期純利益	204,414	121,828
法人税等	73,875	9,854
少数株主損益調整前四半期純利益	130,539	111,973
四半期純利益	130,539	111,973

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	130,539	111,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△17,789	△62,786
為替換算調整勘定	146,979	378,749
その他の包括利益合計	129,189	315,963
四半期包括利益	259,728	427,937
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	259,728	427,937
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

- (3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。
- (4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。
- (5) セグメント情報等

I 前第1四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,743,820	305,949	197,622	366,469	101,286	3,715,147
セグメント間の内部売上高又は振替高	673,217	13,964	—	—	208,333	895,515
計	3,417,037	319,914	197,622	366,469	309,620	4,610,663
セグメント利益又は損失(△)	213,354	△40,380	20,068	42,568	19,674	255,285

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	3,594	3,718,742	—	3,718,742
セグメント間の内部売上高又は振替高	45	895,560	△895,560	—
計	3,639	4,614,302	△895,560	3,718,742
セグメント利益又は損失(△)	1,351	256,637	△4,903	251,733

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理店業務などであります。

2. セグメント利益の調整額△4,903千円には、セグメント間取引消去△14,031千円、棚卸資産の調整額3,123千円、その他6,005千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	日本	インドネシア	米国	欧州	中国	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,735,109	356,008	183,746	335,614	136,987	3,747,466
セグメント間の内部売上高又は振替高	548,286	36,435	—	—	204,378	789,100
計	3,283,396	392,443	183,746	335,614	341,365	4,536,567
セグメント利益又は損失(△)	142,395	11,881	30,524	40,853	△9,342	216,312

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	3,518	3,750,985	—	3,750,985
セグメント間の内部売上高又は振替高	45	789,145	△789,145	—
計	3,563	4,540,131	△789,145	3,750,985
セグメント利益又は損失(△)	1,791	218,104	12,526	230,630

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、損害保険代理店業務などであります。

2. セグメント利益の調整額12,526千円には、セグメント間取引消去25,474千円、棚卸資産の調整額△13,002千円、その他55千円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べ、当第1四半期連結累計期間のセグメント利益が「日本」で962千円増加しております。

4. 補足情報

(1) 販売の状況

① 製品別売上高

(単位:百万円、%)

	前第1四半期実績		当第1四半期実績		前年 同期比	25年3月期通期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
平 刃 類	1,211	32.6	1,279	34.1	105.6	5,450	32.9
カ ッ タ ー 類	837	22.5	874	23.3	104.5	3,840	23.2
丸 鋸 類	1,616	43.5	1,549	41.3	95.8	7,090	42.8
商 品	53	1.4	48	1.3	89.5	180	1.1
合 計	3,718	100.0	3,750	100.0	100.9	16,560	100.0

② 国内・海外別売上高

(単位:百万円、%)

	前第1四半期実績		当第1四半期実績		前年 同期比	25年3月期通期計画	
	金額	構成比	金額	構成比		金額	構成比
国 内	2,254	60.6	2,345	62.5	104.1	10,210	61.7
海 外	1,464	39.4	1,405	37.5	96.0	6,350	38.3
ア ジ ア	778	20.9	769	20.5	98.8	3,480	21.0
ア メ リ カ	216	5.8	233	6.3	108.1	1,040	6.3
ヨ ー ロ ッ パ	423	11.4	360	9.6	85.3	1,640	9.9
そ の 他	46	1.3	42	1.1	90.4	190	1.1
合 計	3,718	100.0	3,750	100.0	100.9	16,560	100.0